在日大韓基督教会

京都教会 女性会

教 育 部 だ よ り　　**第15号**　　2023年8月

聖書の学び

**『信仰生活の目的』** マタイによる福音書10章32-33節

高大韓 伝道師

皆さんはなぜ、信仰生活をしますか。いきなり重い質問かもしれません。

神さまからの祝福を得るためですか？ 慰めてもらうためですか？ 健康を得るためですか？ 成功するためですか？ 私たちが教会に行く最も重要な理由はイエスさまに出会うためです。

**イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」 （**ヨハネによる福音書14章6節）

死ぬしかない罪人の私たちが 救われる唯一の道であるイエスさま！ この世で真の真理となられた イエスさま！ 私たちの痛みを治癒し、私たちに本当の平安と安らぎを与え、私たちを治癒してくださるイエスさま！ そのイエスさまに出会うためであって、他に目的があってはいけません。  
　私たちがイエスさまに出会うためには、まず、私たちの考えと私たちの態度が正しく立っていなければなりません。 私たちの考えと態度がどれほど重要であるか。 私たちの姿一つ一つが全て主を表しており、主と共にしているということです。私たちの姿、態度、行動がすべて主とつながっているということです。  
　私たちは 幸せになるために教会に行くのではありません。イエスさまを信じれば、その豊かな恩恵みのために私たちが幸せになるのです。

私たちが慰められるために教会に行くのではありません。イエスさまを信じれば、その果てしない愛によって私たちが慰めを得ることになるのです。

私たちは平安を得るために教会を訪れるのではありません。イエスさまと同行すれば、イエスさまが私と共におられることを知っているので、私たちが本当の平安を得ることになるのです。  
私たちの唯一の目的は、イエスさまのみでなければなりません。  
　もう一度、質問します。 皆さんはどうして教会に来られますか？ なぜ礼拝の席にいるのですか？

それは、私たちの唯一の救い主であり、牧者であるイエスさまに出会い、真の真理を知り、その方の果てしない生命の中にとどまるためです。  
　そうなるために、神さまに向けた私たちの態度が求められるのです。  
私たちが他のものに目を向けるのではなく、ただイエスさまのお名前だけを高め、イエスさまの恩恵だけを賛美して私たちと同行し、私たちと共におられるイエスさまだけを信じて歩む 私たち一人一人となります

ようにお祈りします。

★ **四角が円になるために** 　 -朴貞珍–

**「わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。」 (ローマ人への手紙 15:1-2)**

教会には、信仰の強い者と弱い者がいます。ヨハネによる福音書17章には、「お互いに一つになりなさい」というイエスの言葉があります。私たちは自分自身を高ぶらせず、隣人に善と美徳をもたらすように努めるべきです。

私たちの本能には自然でなく不快な側面もあるかもしれませんが、聖徒たちは隣人の喜びのために生きるべきです。

**「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ」（フィリピの信徒への手紙2：6～7）**

イエスは神でありながら、私たち人間のために十字架を背負い、苦難を経験されました。

無実で迫害されたイエスです。私たちも耐えなければなりません。教会内でただ自分の意見を主張し、証明しようとするのではなく、隣人の喜びのためにイエスのように生きるべきです。

**「かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを教え導くためのものです。それでわたしたちは、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続けることができるのです。」 (ローマ人への手紙 15:4)**

聖書は2000〜3000年前に書かれましたが、21世紀の今日でも実用的な価値があります。聖書は時を超えています。聖書の中心はキリストです。旧約聖書にもイエスが登場します。

クリスチャンは多くの忍耐が求められることがあります。教会の兄弟姉妹たちに神の約束の希望に基づいて慰めを与えるべきです。私たちの祈りへの応答は実現します。忍耐強く絶え忍ぶと、希望が生まれます。

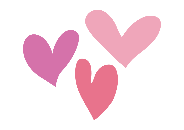
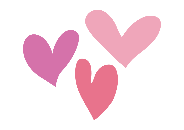
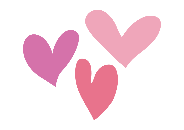
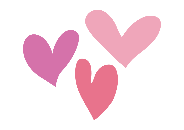
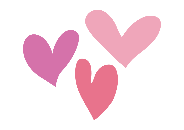
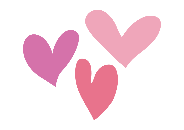
互いに異なる聖徒たちがイエスの内に一つになることは、礼拝の中でのみ可能な超自然の恵みです。私たちはお互いを批判せず、分かち難く、分裂しないよう努めるべきです。

忍耐することは、傷を癒すことを意味します。忍耐しなければ、無関心で冷淡になり、「力を尽くしてみたけれど、傷しか残らない」となるでしょう。私たちは忍耐し、互いに変わり、希望を持つべきです。温かい受容によって手を差し伸べれば、変化が訪れます。

そうすれば家庭にも希望が芽生えるでしょう。希望を見据えて忍耐しましょう。そうすれば実を結ぶでしょう。信仰の強い四角と信仰の弱い三角が結ばれて円になっていくでしょう。とがった角がまるくなります。

他人のために生きる姿勢によって、イエス・キリストの姿が私たちの内に再現されるでしょう。私たちがキリストの内で一つになるとき、キリストの兵士として前進できるでしょう。つまらないクリスチャンではなく、イエス・キリストの使命のために隣人を喜ばせ、共に喜び、一つの体として進むべきです。

神に栄光を帰する日が来るでしょう。

* **一緒に行く美しさ** -朴貞珍–

私たちは決意を持っています。

「私は兄弟のつまずき石になりたくない。兄弟を批判しない。」 このように決意しなければなりません。

論争に勝てば兄弟を失うと言われています。

私たちは皆、キリストの成熟した尺度に達するまで成長する必要があります。

兄弟が信仰の中で成長することを妨げることは、失敗につながります。

教会内には秩序と愛と平和が存在するべきです。

兄弟を美徳で励まし、支えるべきです。

パウロは神の前で自己の信仰を持つように言っています。

自分だけが正しいとは考えず、信仰を通じて教会の生活を送るべきです。

パウロはテモテに対して、食べることができる食べ物は神が創造したものであるため、感謝の心を持って食べるように伝えました。

しかし、信仰が弱い人が疑念を抱くような場合、その人々のために肉やぶどう酒を避けるべきだと述べました。

イエス・キリストは「隣人を自分の体と同じように愛せよ」と言われました。

旧約の律法を破ることは罪ですが、神の良きこと、喜び、完全なことを見分けるべきです。

兄弟愛のために自己の自由を捧げることが、一緒に行く美しさです。

一緒に喜び、一緒に泣くことによって、聖徒たちの兄弟愛を得ることができると言われています。

孤児は親に叱られる友達をうらやましく思います。

愛情の心を持って行動すれば、傷つくことなく互いに支えることができると言われています。

本来の思いやりはイエス・キリストです。

**この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。**（ヘブライ人への手紙 4:15）

私たちは主の十字架の思いやりを受けました。

聖徒たちは異なる考えを持っていても、一緒に行動し、愛を分かち合うべきです。

**♪ <非常に遠い昔>♪**

**非常に遠い昔、天から**

**あなたへの計画がありました。**

**神は見て、喜ばれました。**

**この世界で最も尊いもの**

**神の手で創造されました。**

**あなたのために喜びます**

**あなたを愛します**

**愛して祝福して**

**あなたの心に私たちの愛を捧げます。**

アーメン！



★ **あなたの言葉があなたの人生を決める。**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 -金英児–

You Tubeによいお話がありましたので、ここにご紹介いたします。

ニューヨークタイムズが選定した史上最高の宣教師として名高いスタンレー・ジョーンズ（Stanley jones）宣教師は脳梗塞で倒れ数か月間寝たきりの状態となり言葉がうまく話せなくなったことがありました。宣教地インドからアメリカに帰ってきた彼は、すでに高齢であり、そのうえ脳の血管も破れ、お医者さんもお手上げの状態でした。そこで、スタンレー宣教師は担当看護師に次のようにお願いしました。「看護師さん　私の体が麻痺して舌が思うように動きません。朝私が目覚めたら「Good Morning!」の代わりに「ナザレのイエス・キリストの名によって命ずる！Rise Up! 立ち上がれスタンレー・ジョーンズ！」と言ってください」看護師さんは　彼の要望どおり毎朝　彼が目覚めると「ナザレのイエス・キリストの名によって命ずる！Rise Up! スタンレー・ジョーンズ」と言うと　スタンレー宣教師は「アーメン！」と答えました。そんな姿を見て周りの人達は、せせら笑いました。「そんなことして病気が治るもんか！」と思っていたからでしょう。しかしスタンレー宣教師は生ける神の力を信じ全能なる神様が我が父であることに全幅の信頼を置いていたのです。何よりも彼は信仰によって口で告白した言葉の威力が、どれほど大きいかをよく知っていたのです。そんな日々がしばらく続いたある日スタンレー宣教師は完全に回復し再びインドに戻り最後まで宣教師として主に召されるまで主の働きに仕えたのです。

このように言葉にはものすごい威力が潜んでおりますが、特に神の子どもである私たちクリスチャンの宣言によって偉大な神の御業が起こります。

「出典：Prayer Academy Ministry カングレイス宣教師」

♡♡ エフェソの信徒への手紙4：31-32

　無慈悲、憤り、怒り、わめき、そしりなどすべてを、一切の悪意と一緒に捨てなさい。

互いに親切にし、憐みの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

♡♡ 次回、女性会聖書勉強会は 9月5日(火) 10:30~12:00です。

皆様の多くのご参加をお待ちしております。

* まだ、担任牧師先生が決まらないことも 神様の摂理の中で許されたことと信じます。

聖霊様の導きのままに聖徒一人一人のお祈りが一つになり、互いを思い、謙遜な心で主のタイミングを静かに待ち望みたいと願います。

※　メール　　[mison3252@gmail.com](mailto:mison3252@gmail.com)

教会あてTEL（075-311-5051）/　FAX（075-313-3778）、郵送など。

教育部・林美善まで。